

学術論文を機関リポジトリに 登録することの効果

-ZSプロジェクトから見えてきたもの-

2009.9.17 SPARC-Japanセミナー

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科

佐藤翔(min2fly@slis.tsukuba.ac.jp)

目次

1. 機関リポジトリとは？
2. ZSプロジェクトについて
3. アクセスログ分析
4. 『Zoological Science』論文の利用
5. まとめ

目次

1. 機関リポジトリとは？
2. ZSプロジェクトについて
3. アクセスログ分析
4. 『Zoological Science』論文の利用
5. まとめ

機関リポジトリとは？

- **学術機関**が、**機関で生産されたコンテンツ**を、インターネットを用いて**収集・管理・発信**するシステム（サービス）
- 国際的な標準化がなされている
- 2001年頃からあらわれる
 - オープンアクセス運動（後述）の影響などで世界的に広がる
- 2005年から国内でも普及
 - 千葉大学CURATOR運用開始
 - NII・学術機関リポジトリ構築連携支援事業

機関リポジトリの現状

- 現在の機関リポジトリの状況
 - 世界全体で**1,447** (ROARより、分野別含む)
 - 国内では**111**リポジトリ (NIIより、共同リポジトリ含む)
 - 国内総コンテンツ数は**71万**以上、本文が閲覧可能なものは**約50万**

Kyoto University Research Information Repository - ホーム - Mozilla Firefox

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/

Google Twitter / ホーム つばりポジトリ (Tulips-R...) 北海道大学学術成果コ... アジア経済研究所-DSpa... Kyoto University Resea... bookmarklet:GetPageR... SLIS, Univ. of Tsukuba ...

Kyoto University Research Inf... Kyoto University Research Informatio... (無題)



京都大学学術情報リポジトリ

KURENAI: Kyoto University Research Information Repository



図書館機構 | 京都大学

Google Custom Search

Search

リポジトリ検索

 検索

詳細検索

→ [ホーム](#)

ブラウズ

→ [コミュニティ & コレクション](#)

→ [タイトル](#)

→ [著者](#)

→ [主題](#)

→ [日付](#)

→ [良く読まれている文献](#)

→ [ヘルプ](#)

→ [DSpaceについて](#)

Kyoto University Research Information Repository >

「京都大学学術情報リポジトリ」は京都大学内で生産された電子的な知的生産物(学術雑誌掲載論文, 学位論文, プレプリント, 科学研究費報告書, COEプログラム研究成果, 講義資料・教材, 学会発表資料などの学術情報)を永続的に蓄積し, 誰もが無料で読めるようにWeb上で公開するものです。



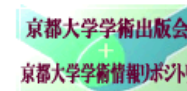
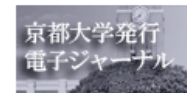
- 2009.09.01 [KURENAI: 『健康科学』\(5\)を公開](#)
- 2009.08.24 [KURENAI: 博士学位論文1000件以上を公開](#)
- 2009.08.18 [KURENAI: 【イベント】第3回SPARC Japantzミナー/DRFtech-Kyoto を開催します \(9/7-9\)](#)
- 2009.08.14 [KURENAI: 収録論文数が4万件を突破! / 【特別インタビュー】農学研究科・寺本好邦助教](#)
- 2009.08.13 [KURENAI: 『数理解析研究所講義録』749-899, 1540-1600を公開](#)
- 2009.08.06 [KURENAI: 『Lifelong education and libraries』\(9\)を公開](#)
- 2009.08.03 [KURENAI: 『経済資料研究』を公開](#)
- 2009.07.28 [KURENAI: 工学研究科の学位論文\(2009.05.25授与分\)を公開](#)
- 2009.07.24 [論文の統合検索ツール"京大ArticleSearch"がより便利になりました](#)

[過去のお知らせ](#)

このリポジトリのコミュニティ

コレクションを閲覧するコミュニティを選択してください。

- 001 [総長 = Presidents of Kyoto University](#)
- 002 [学位論文 = Thesis or Dissertation](#)
- 003 [科研費報告書 = Reports of Grants-in-Ai for Scientific Research](#)
- 004 [iPS細胞研究センター = Center for iPS Cell Research and Application](#)
- 005 [京都大学学術出版会 = Kyoto University Press](#)
- 007 [京都大学に基盤のある学会・研究会 = Related Academic Societies](#)
- 008 [日本動物学会 = Zoological Society of Japan](#)
- 010 [文学研究科・文学部 = Graduate School of Letters](#)
- 020 [教育学研究科・教育学部 = Graduate School of Education](#)



[京都大学学術情報リポジトリ総合案内サイト\(登録の方法など\)](#)

[京都大学学術情報リポジトリについて\(工学研究科附属情報センターニュース第7号\)](#)

[京都大学学術情報リポジトリのコンテンツ\(工学研究科附属情報センターニュース第11号\)](#)

[DSpaceに関する技術的なメモ](#)

京大の最新20論文

Hall effect of spin waves in frustrated magnets
Physical Review Letters;
Fuimoto, S



京都大学学術情報リポジトリ

KURENAI: Kyoto University Research Information Repository

図書館機構 | 京都大学

Google Custom Search

Search

リポジトリ検索

 検索

詳細検索

検索

Kyoto University Research Information Repository >

「京都大学学術情報リポジトリ」は京都大学内で生産された電子的な知的生産物(学術雑誌掲載論文, 学位論文, プレプリント, 科学研究費報告書, COEプログラム研究成果, 講義資料・教材, 学会発表資料などの学術情報)を永続的に蓄積し, 誰もが無料で読めるようにWeb上で公開するものです。



- 2009.09.01 KURENAI: 『数理解析研究所講義録』749-899, 1540-1600を公開
- 2009.08.24 KURENAI: 『数理解析研究所講義録』749-899, 1540-1600を公開
- 2009.08.18 KURENAI: 『数理解析研究所講義録』749-899, 1540-1600を公開
- 2009.08.14 KURENAI: 収録論文数が4件と大幅に7月特刊インタビュー】農学研究科・寺本好邦助教
- 2009.08.13 KURENAI: 『数理解析研究所講義録』749-899, 1540-1600を公開
- 2009.08.06 KURENAI: 『Lifelong education and libraries』(9)を公開
- 2009.08.03 KURENAI: 『経済資料研究』を公開
- 2009.07.28 KURENAI: 工学研究科の学位論文(2009.05.25授与分)を公開
- 2009.07.24 論文の統合検索ツール"京大ArticleSearch"がより便利になりました

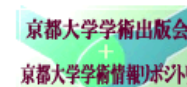
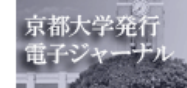
過去のお知らせ

リンク

このリポジトリのコミュニティ

コレクションを閲覧するコミュニティを選択してください。

- 001 総長 = Presidents of Kyoto University
- 002 学位論文 = Thesis or Dissertation
- 003 科研費報告書 = Reports of Grants-in-Aid for Scientific Research
- 004 iPS細胞研究センター = Center for iPS Cell Research and Application
- 005 京都大学学術出版会 = Kyoto University Press
- 007 京都大学に基盤のある学会・研究会 = Related Academic Societies
- 008 日本動物学会 = Zoological Society of Japan
- 010 文学研究科・文学部 = Graduate School of Letters
- 020 教育学研究科・教育学部 = Graduate School of Education



京都大学学術情報リポジトリ総合案内サイト(登録の方法など)

京都大学学術情報リポジトリについて(工学研究科附属情報センターニュース第7号)

京都大学学術情報リポジトリのコンテンツ(工学研究科附属情報センターニュース第11号)

DSpaceに関する技術的なメモ

京大の最新20論文

Hall effect of spin waves in frustrated magnets
Physical Review Letters;
Fuimoto, S.



京都大学学術情報リポジトリ

KURENAI: Kyoto University Research Information Repository



図書館機構 | 京都大学

Google Custom Search

Search

リポジトリ検索

検索

詳細検索

ホーム

ブラウズ

コミュニティ
& コレクション

タイトル

著者

主題

日付

良く読まれている文献

ヘルプ

DSpaceについて

Kyoto University Research Information Repository >

「京都大学学術情報リポジトリ」は京都大学内で生産された電子的な知的生産物(学術雑誌掲載論文, 学位論文, プレプリント, 科学研究費報告書, COEプログラム研究成果, 講義資料・教材, 学会発表資料などの学術情報)を永続的に蓄積し, 誰もが無料で読めるようにWeb上で公開するものです。



2009.09.01 KURENAI: 取組論文数が4年連続で大幅に増加したインタビュー【農学研究科・寺本好邦助教
2009.08.24 KURENAI: DRFtech-Kyoto を開催します
2009.08.18 KURENAI: (9/7-9)
2009.08.14 KURENAI: 取組論文数が4年連続で大幅に増加したインタビュー【農学研究科・寺本好邦助教
2009.08.13 KURENAI: 『数理解析研究所講究録』749-899, 1540-1600を公開
2009.08.06 KURENAI: 『Lifelong education and libraries』(9)を公開
2009.08.03 KURENAI: 『経済資料研究』を公開
2009.07.28 KURENAI: 工学研究科の学位論文(2009.05.25授与分)を公開
2009.07.24 論文の統合検索ツール"京大ArticleSearch"がより便利になりました

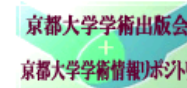
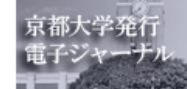
過去のお知らせ

クリック

このリポジトリのコミュニティ

コレクションを閲覧するコミュニティを選択してください。

- 001 総長 = Presidents of Kyoto University
- 002 学位論文 = Thesis or Dissertation
- 003 科研費報告書 = Reports of Grants-in-Aid for Scientific Research
- 004 iPS細胞研究センター = Center for iPS Cell Research and Application
- 005 京都大学学術出版会 = Kyoto University Press
- 007 京都大学に基盤のある学会・研究会 = Related Academic Societies
- 008 日本動物学会 = Zoological Society of Japan
- 010 文学研究科・文学部 = Graduate School of Letters
- 020 教育学研究科・教育学部 = Graduate School of Education



京都大学学術情報リポジトリ総合案内サイト(登録の方法など)

京都大学学術情報リポジトリについて(工学研究科附属情報センターニュース第7号)

京都大学学術情報リポジトリのコンテンツ(工学研究科附属情報センターニュース第11号)

DSpaceに関する技術的なメモ

京大の最新20論文

Hall effect of spin waves in frustrated magnets
Physical Review Letters;
Fuimoto, S.



京都大学学術情報リポジトリ

KURENAI: Kyoto University Research Information Repository



図書館機構 | 京都大学

Google Custom Search

Search

リポジトリ検索

検索

詳細検索

→ ホーム

ブラウズ

→ コミュニティ
& コレクション

→ タイトル

→ 著者

→ 主題

→ 日付

→ 良く読まれている文献

→ ヘルプ

→ DSpaceについて

[Kyoto University Research Information Repository](#) >

008 日本動物学会 = Zoological Society of Japan

コミュニティ・ホームページ

検索対象: 008 日本動物学会 = Zoological Society of Japan

検索語

検索

あるいは、ブラウズ

タイトル

著者

主題

日付

[Zoological Society of Japan / 日本動物学会](#)

このコミュニティのコレクション

- [Zoological Science](#)

最近登録されたアイテム

[Variation in Coded Morphological Characters in the Japanese Common Toad from Momoyama, Kyoto, Japan](#)

[Biochemical Differentiation in Japanese Newts, Genus Cynops \(Salamandridae\)](#)

[Local population differentiation in Hynobius retardatus from Hokkaido : an electrophoretic analysis \(Caudata : Hynobiidae\)](#)

[Acoustic Characteristics of Three Species of the Genus Amolops \(Amphibia, Anura, Ranidae\)](#)

[Acoustic Characteristics of Treefrogs from Sichuan, China, with Comments on Systematic Relationship of Polypedates and Rhacophorus \(Anura, Rhacophoridae\)](#)

RSSフィード

RSS 1.0

RSS 2.0



京都大学学術情報リポジトリ

KURENAI: Kyoto University Research Information Repository



図書館機構 | 京都大学

Google Custom Search

Search

リポジトリ検索

 検索

詳細検索

→ ホーム

ブラウズ

→ コミュニティ
& コレクション

→ タイトル

→ 著者

→ 主題

→ 日付

→ 良く読まれている文献

→ ヘルプ

→ DSpaceについて

[Kyoto University Research Information Repository](#) >

008 日本動物学会 = Zoological Society of Japan

コミュニティ・ホームページ



[Zoological Society of Japan / 日本動物学会](#)

このコミュニティのコレクション

- [Zoological Science](#)

最近登録されたアイテム

[Variation in Coded Morphological Characters in the Japanese Common Toad from Momoyama, Kyoto, Japan](#)

[Biochemical Differentiation in Japanese Newts, Genus Cynops \(Salamandridae\)](#)

[Local population differentiation in Hynobius retardatus from Hokkaido : an electrophoretic analysis \(Caudata : Hynobiidae\)](#)

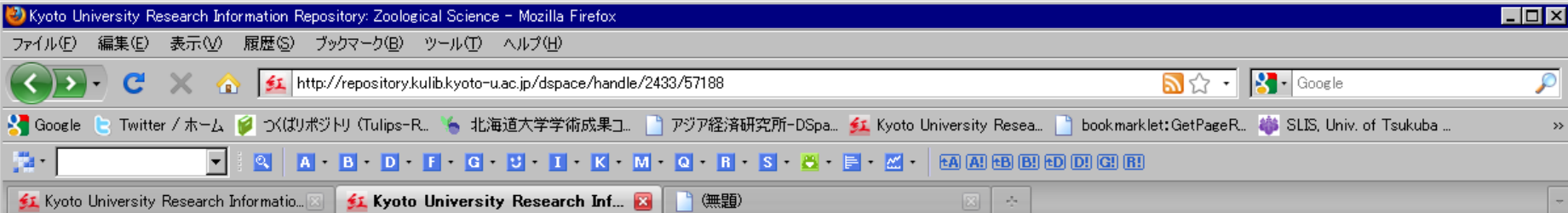
[Acoustic Characteristics of Three Species of the Genus Amolops \(Amphibia, Anura, Ranidae\)](#)

[Acoustic Characteristics of Treefrogs from Sichuan, China, with Comments on Systematic Relationship of Polypedates and Rhacophorus \(Anura, Rhacophoridae\)](#)

RSSフィード

RSS 1.0

RSS 2.0



- リポジトリ検索
- 検索
- 詳細検索
- ホーム
- ブラウズ
- コミュニティ & コレクション
- タイトル
- 著者
- 主題
- 日付
- 良く読まれている文献
- ヘルプ
- DSpaceについて

Kyoto University Research Information Repository >
008 日本動物学会 = Zoological Society of Japan >

Zoological Science

コレクションのホームページ

検索対象: Zoological Science

検索語 検索

あるいは、ブラウズ タイトル 著者 主題 日付

このコレクションを購読する

Zoological Science
発行: Zoological Society of Japan / 日本動物学会
ISSN: 0289-0003
Vol.1, no.1(Feb. 1984)-

文献一覧(出版年月日順)

[次ページ](#)

著者	タイトル	掲載誌等	発行日
Matsui, Masafumi	Three new species of Leptolalax from Thailand (Amphibia, Anura, Megophryidae)	Zoological Science	Sep-2006
Matsui, Masafumi; Nabhitabhata, Jarujin	A new species of Amolops from Thailand (Amphibia, Anura, Ranidae)	Zoological Science	Aug-2006
Ushimaru, Yuji; Konno, Aru; Kaizu, Miki; Ogawa, Kazuo	Association of a 66 kDa homolog of Chlamydomonas DC2, a subunit of the outer arm docking complex, with outer arm dyna...	Zoological	Aug-2006

最新登録アイテム

[Variation in Coded Morphological Characters in the Japanese Common Toad from Momoyama, Kyoto, Japan](#)

[Biochemical Differentiation in Japanese Newts, Genus Cynops \(Salamandridae\)](#)

[Local population differentiation in Hynobius retardatus from Hokkaido : an electrophoretic analysis \(Caudata : Hynobiidae\)](#)

[Acoustic Characteristics of Three Species of the Genus Amolops \(Amphibia, Anura, Ranidae\)](#)

[Acoustic Characteristics of Treefrogs from Sichuan, China, with Comments on Systematic Relationship of Polypedates and Rhacophorus](#)



京都大学学術情報リポジトリ

KURENAI: Kyoto University Research Information Repository



図書館機構 | 京都大学

Google Custom Search

Search

リポジトリ検索

 検索

詳細検索

→ ホーム

ブラウズ

→ コミュニティ
& コレクション

→ タイトル

→ 著者

→ 主題

→ 日付

→ 良く読まれている文献

→ ヘルプ

→ DSpaceについて

Kyoto University Research Information Repository >
008 日本動物学会 = Zoological Society of Japan >

Zoological Science

コレクションのホームページ

検索対象: Zoological Science

検索語 検索

あるいは、ブラウズ タイトル 著者 主題 日付

このコレクションを購読する 購読

Zoological Science

発行: Zoological Society of Japan / 日本動物学会

ISSN: 0289-0003

Vol.1, no.1(Feb. 1984)-

文献一覧(出版年月日順)

クリック

次ページ

著者	タイトル	掲載誌等	発行日
Matsui, Masafumi	Three new species of <i>Leptolalax</i> from Thailand (Amphibia, Anura, Megophryidae)	Zoological Science	Sep-2006
Matsui, Masafumi; Nabhitabhata, Jarujin	A new species of <i>Amolops</i> from Thailand (Amphibia, Anura, Ranidae)	Zoological Science	Aug-2006
Ushimaru, Yuji; Konno, Aru; Kaizu, Miki; Osawa, Kazuo	Association of a 66 kDa homolog of <i>Chlamydomonas</i> DC2, a subunit of the outer arm docking complex, with outer arm dynain	Zoological	Aug-2006

最新登録アイテム

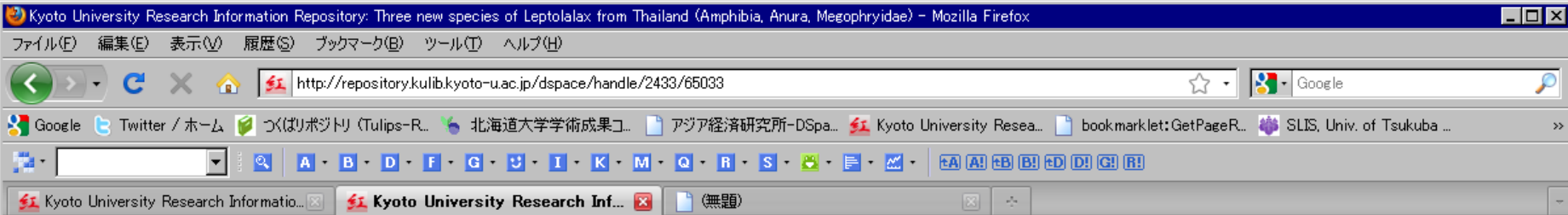
[Variation in Coded Morphological Characters in the Japanese Common Toad from Momoyama, Kyoto, Japan](#)

[Biochemical Differentiation in Japanese Newts, Genus *Cynops* \(Salamandridae\)](#)

[Local population differentiation in *Hynobius retardatus* from Hokkaido: an electrophoretic analysis \(Caudata: Hynobiidae\)](#)

[Acoustic Characteristics of Three Species of the Genus *Amolops* \(Amphibia, Anura, Ranidae\)](#)

[Acoustic Characteristics of Treefrogs from Sichuan, China, with Comments on Systematic Relationship of Polypedates and Rhacophorus](#)



- リポジトリ検索
- 検索
- 詳細検索
- ホーム
- ブラウズ
- コミュニティ & コレクション
 - タイトル
 - 著者
 - 主題
 - 日付
- 良く読まれている文献
- ヘルプ
- DSpaceについて

Kyoto University Research Information Repository >
008 日本動物学会 = Zoological Society of Japan >
Zoological Science >

このアイテムの引用には次の識別子を使用してください: <http://hdl.handle.net/2433/65033>

フルテキストリンク:

[K005.pdf](#) 763.59 kB Adobe PDF [見る/開く](#)

タイトル: Three new species of Leptolalax from Thailand (Amphibia, Anura, Megophryidae)

著者: Matsui, Masafumi NII 研究者リゾルバー

著者名の別形: 松井, 正文

キーワード: acoustics
Leptolalax
new species
Southeast Asia
taxonomy
zoogeography

発行日: Sep-2006

出版者: Zoological Society of Japan

誌名: Zoological Science

巻: 23

号: 9

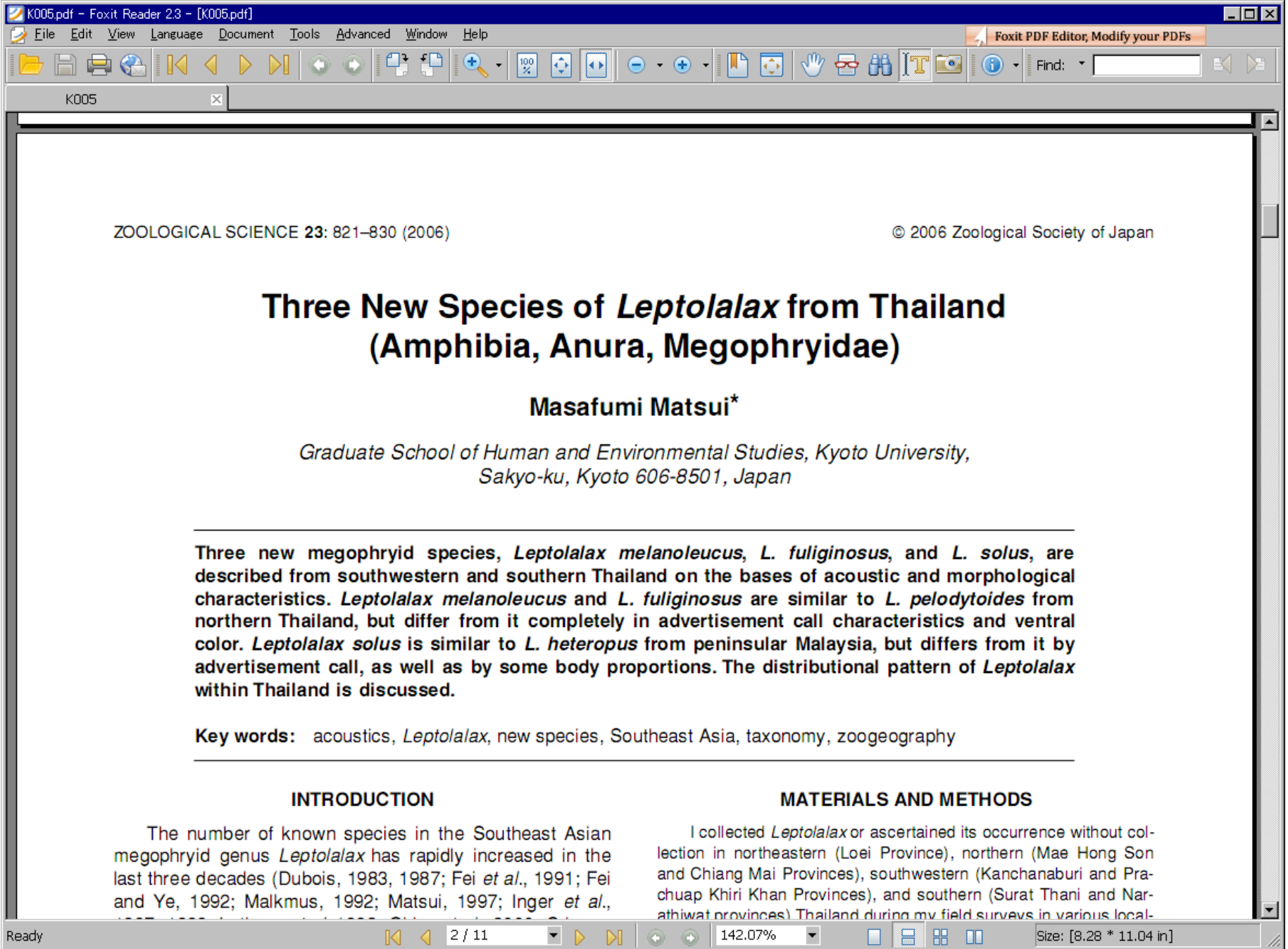
開始ページ: 821

終了ページ: 830

DOI: [10.2108/zsj.23.821](https://doi.org/10.2108/zsj.23.821)

抄録: Three new megophryid species, *Leptolalax malayensis*, *L. fuliginosus*, and *L. celus*, are described

本文へ



Googleからも・・・

Web [Images](#) [Videos](#) [Maps](#) [News](#) [Shopping](#) [Mail](#) [more](#) ▼ min2fly00@yahoo.co.jp | [Web History](#) | [Settings](#) ▼ | [Sign out](#)



Three New Species of Leptolalax from

Search

[Advanced Search](#)

Web [+ Show options...](#)

Results **1 - 100** of about **287** for **Three New Species of Leptolalax from Thailand**. (0.47 seconds)

[Kyoto University Research Information Repository: Three new ...](#)

Abstract: **Three new** megophryid species, **Leptolalax** melanoleucus, L. fuliginosus, and L. solus, are described from southwestern and southern **Thailand** on the ...

[repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/65033](#) - [Cached](#) - [Similar](#) - [🗨](#) [📄](#) [🔍](#)

by MU Items - [Related articles](#) - [All 4 versions](#)

[\[PDF\] KURENAL: Kyoto University Research Information Repository](#)

File Format: PDF/Adobe Acrobat - [View as HTML](#)

Three New Species of Leptolalax from Thailand. (Amphibia, Anura, Megophryidae).

Masafumi Matsui. *. Graduate School of Human and Environmental Studies, ...

[repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/bitstream/2433/.../K005.pdf](#) - [Similar](#) - [🗨](#) [📄](#) [🔍](#)

by MU Items - [Related articles](#)

[More results from repository.kulib.kyoto-u.ac.jp »](#)

[BioOne Online Journals - Three New Species of Leptolalax from ...](#)

Three new megophryid species, **Leptolalax** melanoleucus, L. fuliginosus, and L. solus, are described from southwestern and southern **Thailand** on the bases of ...

[www.bioone.org/doi/abs/10.2108/zsj.23.821](#) - [Similar](#) - [🗨](#) [📄](#) [🔍](#)

by M Matsui - 2006 - [All 5 versions](#)

[BioOne Online Journals - A New Species of Leptolalax \(Amphibia ...](#)

Matsui M (2006) **Three new species of Leptolalax from Thailand** (Amphibia, Anura, Megophryidae). Zool Sci 23: 821-830 Bioone, PubMed ...

[www.bioone.org/doi/abs/10.2108/zsj.26.243](#) - [Similar](#) - [🗨](#) [📄](#) [🔍](#)

by M Matsui - 2009 - [All 3 versions](#)

[+ Show more results from www.bioone.org](#)

[BiomedExperts: Three new species of Leptolalax from Thailand ...](#)

Three new species of Leptolalax from Thailand (Amphibia, Anura, Megophryidae). ' on BiomedExperts. Find the right expert or researcher in 1.5 Million ...

[www.biomedexperts.com/.../Three_new_species_of_Leptolalax_from_](#)

[Thailand_Amphibia_Anura_Megophryidae](#) - [Similar](#) - [🗨](#) [📄](#) [🔍](#)

[Masafumi Matsui - research profile on biomedexperts](#)

Three new species of Leptolalax from Thailand (Amphibia, Anura, Megophryidae).

Zoological science 2006;23(9):821-30. 2006: Matsui Masafumi; Nabhitabhata ...

CiNiiからも・・・

Kyoto University Research Information... Kyoto University Research Information... CiNii - Three new species of ...

CiNii 国立情報学研究所
論文情報ナビゲータ[サイニ]

筑波大学様 [新規登録](#) [ログイン](#) [お知らせ](#) [ヘルプ](#) [English](#)

Three New Species of Leptolalax from Thailand

論文検索

▶ [詳細検索](#)

☒ すべて ☐ CiNiiに本文あり ☐ CiNiiに本文あり、または連携サービスへのリンクあり

Three new species of Leptolalax from Thailand (Amphibia, Anura, Megophryidae) Three New Species of Leptolalax from Thailand(Amphibia, Anura, Megophryidae)(Taxonomy)

 **Matsui Masafumi**

Graduate School of Human and
Environmental Studies, Kyoto University

▼ [参考文献: 28件](#)

本文を読む／探す

 [国立情報学研究所 CiNii 本文PDF](#)

 [CrossRef](#)

 [J-STAGE](#)

 [Tulips-L\(Test\)](#)

 [Webster Blue刊行物・研究雑誌](#)

 [機関リポジトリ本文\(無料\)](#)

 [Tulips-L\(SFX\)](#)

 [Tulips-OPAC](#)

抄録

Three new megophryid species, *Leptolalax melanoleucus*, *L. fuliginosus*, and *L. solus*, are described from southwestern and southern Thailand on the bases of acoustic and morphological characteristics. *Leptolalax melanoleucus* and *L. fuliginosus* are similar to *L. pelodytoides* from northern Thailand, but differ from it completely in advertisement call characteristics and ventral color. *Leptolalax solus* is similar to *L. heteropus* from peninsular Malaysia, but differs from it by advertisement call, as well as by some body proportions. The distributional pattern of *Leptolalax* within Thailand is discussed.

Three new megophryid species, *Leptolalax melanoleucus*, *L. fuliginosus*, and *L. solus*, are described from southwestern and southern Thailand on the bases of acoustic and morphological characteristics. *Leptolalax melanoleucus* and *L. fuliginosus* are similar to *L. pelodytoides* from northern Thailand, but differ from it completely in advertisement call characteristics and ventral color. *Leptolalax solus* is similar to *L. heteropus* from peninsular Malaysia, but differs from it by advertisement call, as well as by some body proportions. The distributional pattern of *Leptolalax* within Thailand is discussed.

収録刊行物

プレビュー



キーワード

[acoustics](#)
[Leptolalax](#)
[new species](#)
[Southeast Asia](#)
[taxonomy](#)
[zoogeography](#)

機関リポジトリとは？

- 「～研究成果に誰もがアクセスでき、公平性や透明性が確保され、説明責任も果たせる」
- 「機関リポジトリを活用することにより、世界中に容易に流通可能となるとともに、どれだけアクセスされたか、何回ダウンロードされたかの情報やサイテーション情報を自動的に把握することも可能となる」

-科学技術・学術審議会 学術分科会研究費部会. “科学研究費補助金に関し当面講ずべき措置について(これまでの審議のまとめ)”. 文部科学省. 2009,
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/gaiyou/1283490.htm,
(2009-09-01参照). より抜粋

目次

1. 機関リポジトリとは？
2. ZSプロジェクトについて
3. アクセスログ分析
4. 『Zoological Science』論文の利用
5. まとめ

ZSプロジェクトとは？

- プロジェクトの目的

- 機関リポジトリによるオープン・アクセス（OA）の効果を検証する
- 「リポジトリに登録することが新たな引用を引き起こすか？」

オープンアクセス(OA)とは？

- 「金銭的・法律的・技術的な障壁を廃し、**誰もが自由に**(学術論文を)読み、ダウンロードし、コピーし、再配布し、印刷し・・・その他あらゆる合法的な範囲で」利用できるようにしようという考え・運動

“Budapest Open Access Initiative”.
<http://www.soros.org/openaccess/read.shtml>,
(2009-09-01参照).より

OA・機関リポジトリと被引用数

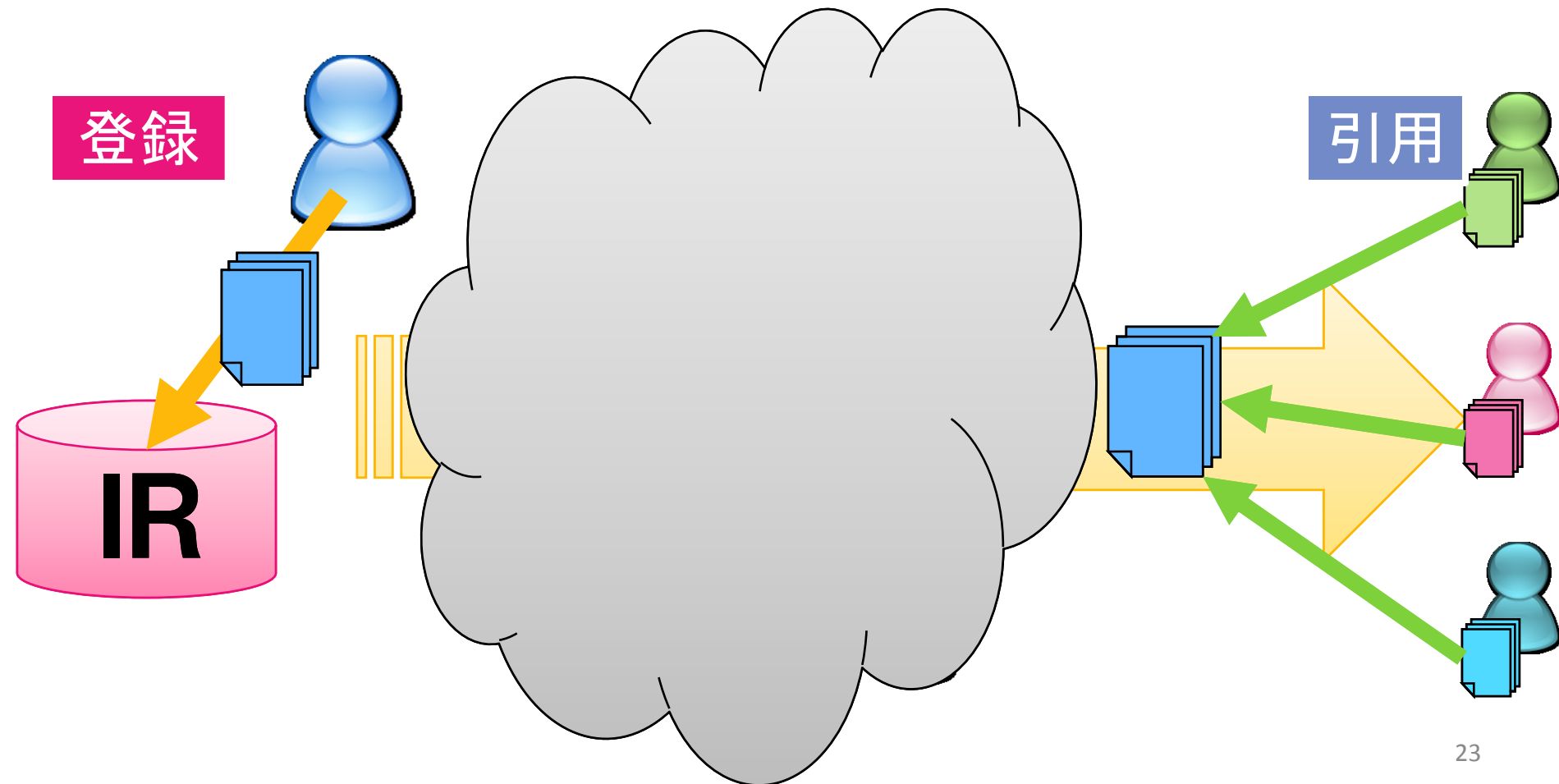
- 機関リポジトリはOAの手段の一つ
(著者自身によるアーカイブ)
- OAにすれば誰でも読める
⇒被引用数が増えるとする主張
- 機関リポジトリに登録する=OAにすると(しないより)よく引用される??

ZSプロジェクトとは？

- OAの被引用数増効果に関する研究は多い
 - 分野別リポジトリ(arXiv等)
 - 電子ジャーナルの部分公開
 - OAであれば対象を限定しない
- 機関リポジトリに限定した研究はない
 - 分野別リポジトリや電子ジャーナルでの結果を援用できるようにも考えられない
 - 「リポジトリに登録することの効果」を検証する必要

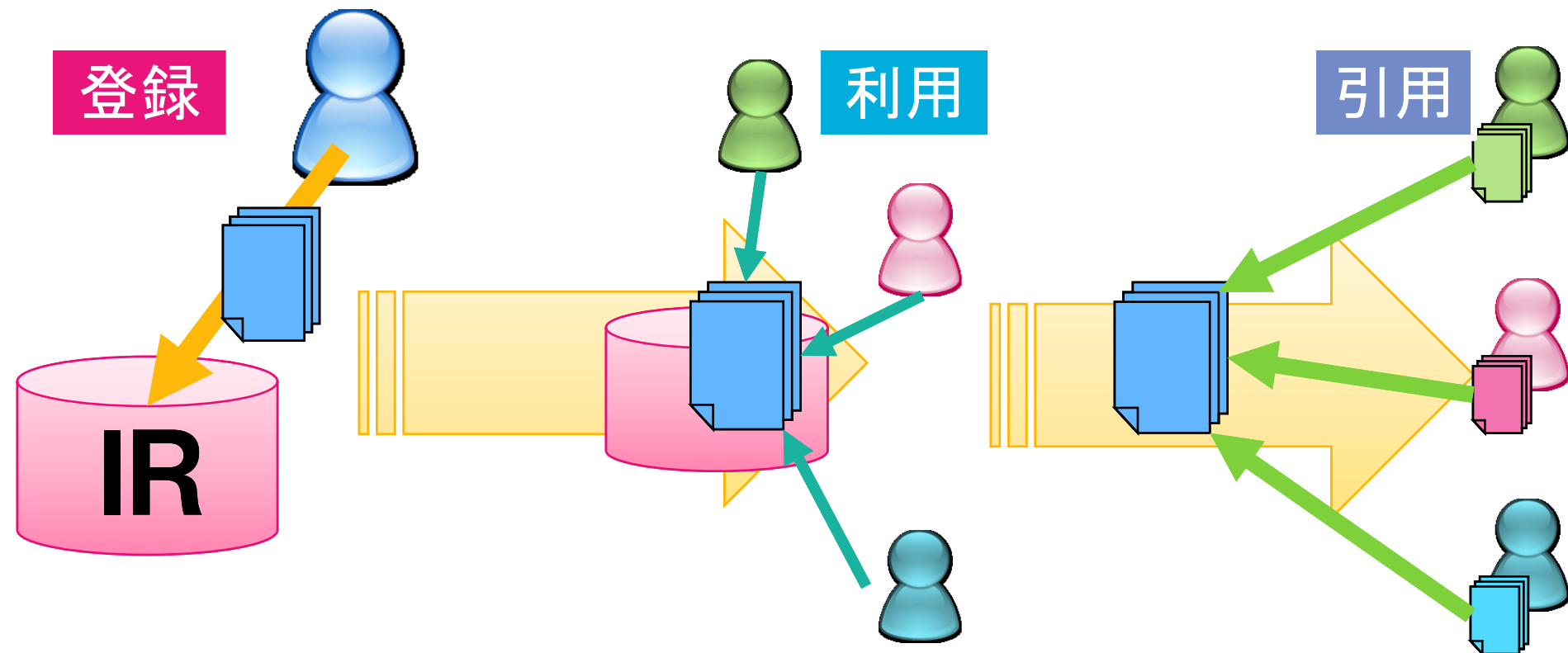
ZSプロジェクトとは？

- 「リポジトリに登録」⇒「引用数が増える」・・・？



ZSプロジェクトとは？

- 利用記録を加味！



目次

1. 機関リポジトリとは？
2. ZSプロジェクトについて
3. アクセスログ分析
4. 『Zoological Science』論文の利用
5. ダウンロード数と被引用数
6. まとめ

機関リポジトリとは？（再掲）

- 「～研究成果に誰もがアクセスでき、公平性や透明性が確保され、説明責任も果たせる」
- 「機関リポジトリを活用することにより、世界中に容易に流通可能となるとともに、**どれだけアクセスされたか、何回ダウンロードされたかの情報やサイテーション情報を自動的に把握することも可能となる**」

-科学技術・学術審議会 学術分科会研究費部会. “科学研究費補助金に関し当面講ずべき措置について(これまでの審議のまとめ)”. 文部科学省. 2009,
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/gaiyou/1283490.htm,
(2009-09-01参照). より抜粋

ログ分析とは何か？

133.51.6.132 - - [27/Jul/2008:07:57:01 +0900] GET
/dspace/handle/2433/49548/1/ HTTP/1.1 200 424264 -
Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; SV1; .NET
CLR 1.1.4322; InfoPath.2; .NET CLR 2.0.50727)

66.249.70.136 - - [01/Jul/2008:04:02:10 +0900] "GET
/dspace/simple-search?query=purification&start=90 HTTP/1.1"
200 32835 "-" "Mozilla/5.0 (compatible; Googlebot/2.1;
+http://www.google.com/bot.html)

-
-
-

133.51.6.132 - - [27/Jul/2008:07:57:01 +0900] GET
/dspace/handle/2433/49548/1/ HTTP/1.1 200 424264
- Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1;
SV1; .NET CLR 2.0.50727) InfoPath.2; .NET CLR

IPアドレス

行動の結果

アクセス先
ファイル名

アクセス
日時

- IPアドレス

- 133.51.6.132

- これだとなんだかよくわからない

↓ `nslookup 133.51.6.132`

- ドメイン名

- dhcp6-132.slis.tsukuba.ac.jp

- 誰のアクセスだかわかるようになる

ログ分析のメリット・デメリット

- メリット
 - 自動的に収集できる
 - 人間の意志が介在しない
 - Cf) インタビュー調査／質問紙調査
 - サンプリングの必要性がない
 - 利用の全数が記録に残っている

(出典 : Galyani Moghaddam, Golnessa; Moballeghi, Mostafa . How Do We Measure Use of Scientific Journals?: A Note on Research Methodologies. Scientometrics. 2008, vol.76, no.1, p. 125-133.)

ログ分析のメリット・デメリット

- デメリット

- ユーザを特定できない

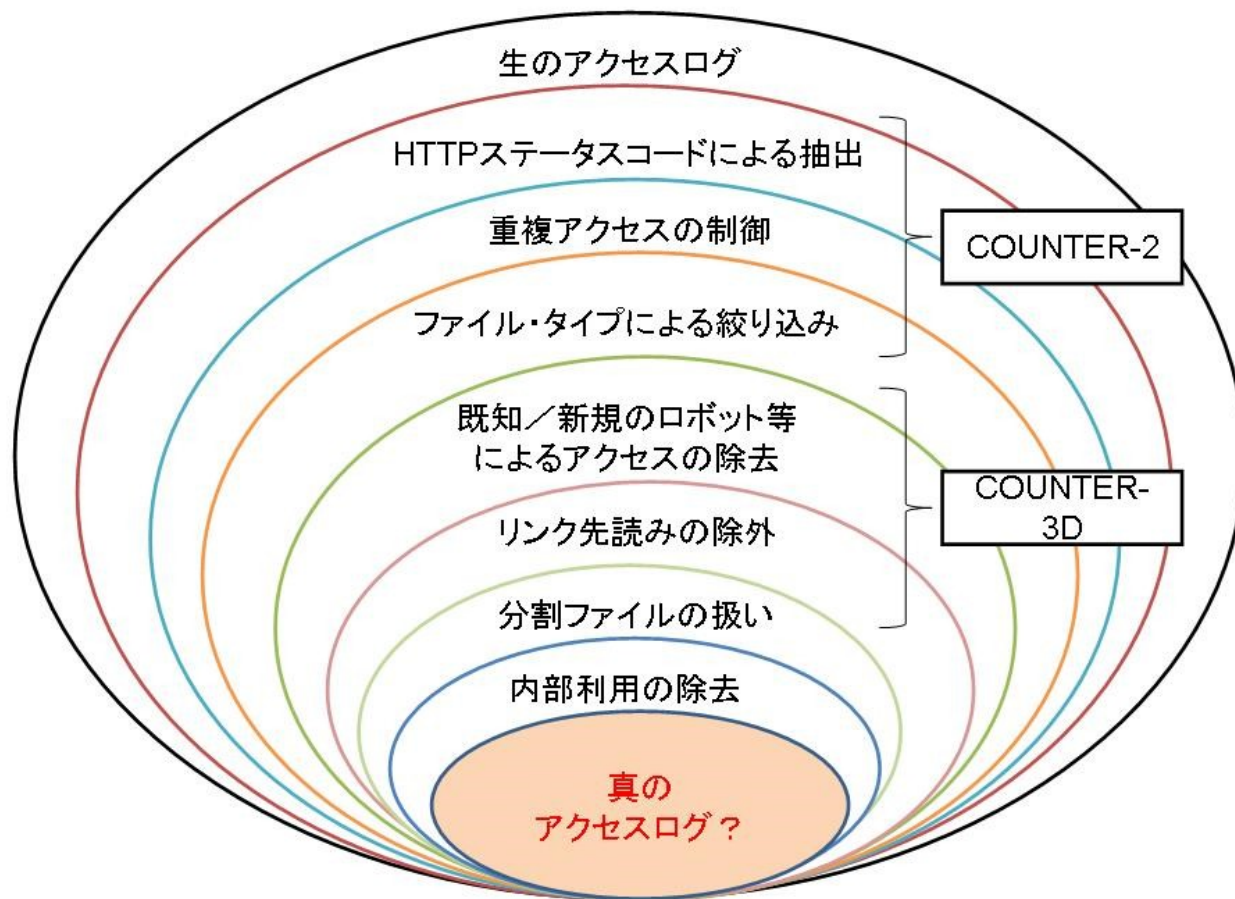
- 同じパソコンを違う人が使う
 - 違うパソコンを同じ人が使う
 - 図書館では特に起こりうること??

- ユーザパフォーマンスとシステムパフォーマンスの区別ができない

- フィルタリングの必要性

(出典: Galyani Moghaddam, Golnessa; Moballeghi, Mostafa . How Do We Measure Use of Scientific Journals?: A Note on Research Methodologies. Scientometrics. 2008, vol.76, no.1, p. 125-133.)

フィルタリングの例



(出典: 佐藤義則. 動向レビュー: 機関リポジトリの利用統計のゆくえ. カレントアウェアネス. 2008, (296), p.12-16. (<http://current.ndl.go.jp/ca1666>, 2009-09-01参照))

目次

1. 機関リポジトリとは？
2. ZSプロジェクトについて
3. アクセスログ分析
4. 『Zoological Science』論文の利用
5. まとめ

『Zoological Science』論文の分析

- 対象
 - 『Zoological Science』掲載論文・・・
 - 京都大学KURENAI収録分: 80件
 - 北海道大学HUSCAP収録分: 83件
 - 計: 163件
 - (うち154件がプロジェクトのための新規追加分)
 - 比較対象: 京大、北大、筑波大、アジア経済研究所リポジトリ収録の英語論文: 21,648件
- 期間: 2008年1年間

アクセス参照元

	Zoological Science		英語論文全体	
	アクセス数	割合	アクセス数	割合
参照元なし (直接アクセス)	1,112	22.0%	84,310	20.6%
リポジトリ内の 別ページから	449	8.9%	65,942	16.1%
サーチエンジン	3,361	66.6%	244,962	59.9%
その他	122	2.4%	13,979	3.4%
合計	5,044	100%	409,193	100%



Three New Species of Leptolalax from

Search

[Advanced Search](#)
[Web](#) [+ Show options...](#)
Results 1 - 100 of about 287 for [Three New Species of Leptolalax from Thailand](#). (0.47 seconds)
[Kyoto University Research Information Repository: Three new ...](#)

Abstract: **Three new** megophryid species, **Leptolalax** melanoleucus, **L. fuliginosus**, and **L. solus**, are described from southwestern and southern **Thailand** on the ...

[repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/65033](#) - [Cached](#) - [Similar](#) - [Comment](#) [Share](#) [Print](#)

by MU Items - [Related articles](#) - [All 4 versions](#)

[\[PDF\] KURENAL: Kyoto University Research Information Repository](#)

File Format: PDF/Adobe Acrobat - [View as HTML](#)

Three New Species of Leptolalax from Thailand. (Amphibia, Anura, Megophryidae).

Masafumi Matsui. *. Graduate School of Human and Environmental Studies, ...

[repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/bitstream/2433/.../K005.pdf](#) - [Similar](#) - [Comment](#) [Share](#) [Print](#)

by MU Items - [Related articles](#)

[More results from repository.kulib.kyoto-u.ac.jp](#) »

[BioOne Online Journals - Three New Species of Leptolalax from ...](#)

Three new megophryid species, **Leptolalax** melanoleucus, **L. fuliginosus**, and **L. solus**, are described from southwestern and southern **Thailand** on the bases of ...

[www.bioone.org/doi/abs/10.2108/zsj.23.821](#) - [Similar](#) - [Comment](#) [Share](#) [Print](#)

by M Matsui - 2006 - [All 5 versions](#)

[BioOne Online Journals - A New Species of Leptolalax \(Amphibia ...](#)

Matsui M (2006) **Three new species of Leptolalax from Thailand** (Amphibia, Anura, Megophryidae). Zool Sci 23: 821-830 Bioone, PubMed ...

[www.bioone.org/doi/abs/10.2108/zsj.26.243](#) - [Similar](#) - [Comment](#) [Share](#) [Print](#)

by M Matsui - 2009 - [All 3 versions](#)

[+ Show more results from www.bioone.org](#)

[BiomedExperts: Three new species of Leptolalax from Thailand ...](#)

Three new species of Leptolalax from Thailand (Amphibia, Anura, Megophryidae). 'on BiomedExperts. Find the right expert or researcher in 1.5 Million ...

[www.biomedexperts.com/.../Three_new_species_of_Leptolalax_from_](#)

[Thailand_Amphibia_Anura_Megophryidae](#) - [Similar](#) - [Comment](#) [Share](#) [Print](#)

[Masafumi Matsui - research profile on biomedexperts](#)

Three new species of Leptolalax from Thailand (Amphibia, Anura, Megophryidae).

Zoological science 2006;23(9):821-30. 2006: Matsui Masafumi; Nabhitabhata ...

アクセス元ドメイン（機関種別）

		Zoological Science		英語論文全体	
	ドメイン	アクセス数	割合	アクセス数	割合
民間（個人）	ne、net	1,121	34.7%	99,259	36.7%
大学	ac、edu	558	17.3%	43,442	16.1%
企業	co、com	572	17.7%	49,964	18.5%
その他		983	30.4%	77,869	28.8%
全体		3,234	100%	270,534	100%

アクセス元ドメイン(国内・海外)

	Zoological Science		英語論文全体	
	アクセス数	割合	アクセス数	割合
国内 (jp)	440	13.6%	43,544	16.1%
海外 (非jp)	2,794	86.4%	226,990	83.9%
全体	3,234	100%	270,534	100%

アクセス元ドメイン(所得別)

	Zoological Science		英語論文全体	
	アクセス数	割合	アクセス数	割合
高所得国 (1人あたりGNI \$11,906以上)	738	48.0%	63,767	51.8%
中所得国 (1人あたりGNI \$3,211-\$11,906)	439	28.6%	29,536	24.0%
低所得国 (1人あたりGNI \$3,211未満)	360	23.4%	29,791	24.2%
全体	1,537	100%	123,094	100%

アクセス元国

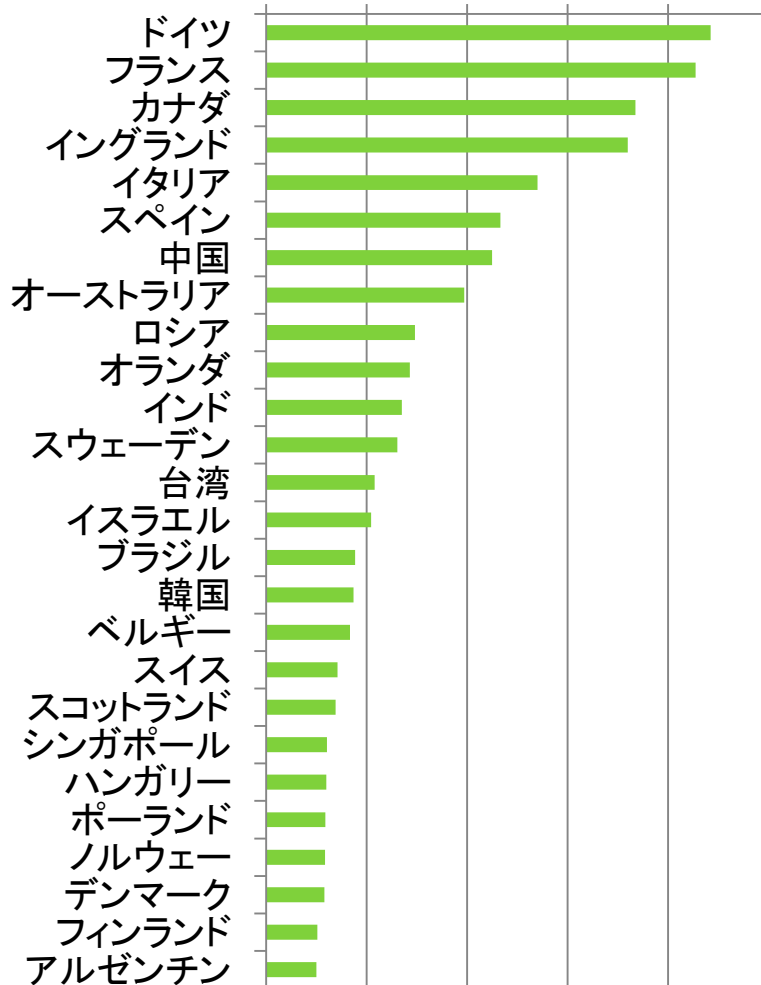
順位	国・地域名	アクセス数
1	イギリス	94
2	ドイツ	85
3	インドネシア	84
4	オーストラリア	81
5	ロシア	80
6	ポーランド	73
7	インド	72
8	イタリア	70
9	ブラジル	67
9	中国	67
11	フランス	62
12	カナダ	57
13	オランダ	43
13	タイ	43

順位	国・地域名	アクセス数
15	メキシコ	40
16	アルゼンチン	36
17	マレーシア	27
18	ベトナム	26
19	チェコ	24
20	トルコ	23
21	ベルギー	19
21	ウクライナ	19
23	南アフリカ共和国	18
24	デンマーク	17
24	ルーマニア	17
26	スペイン	16
27	コロンビア	14
27	ハンガリー	14

引用元国とアクセス元国の比較

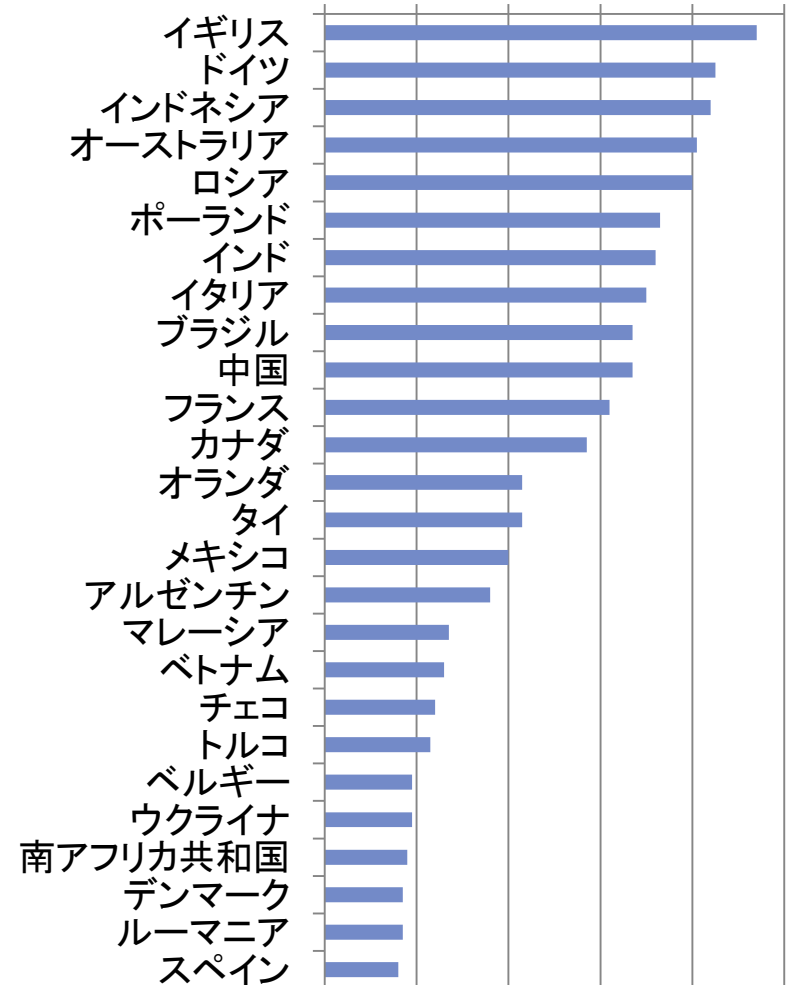
良く引用している国

0 200 400 600 800 1000



良くアクセスしている国

0 20 40 60 80 100

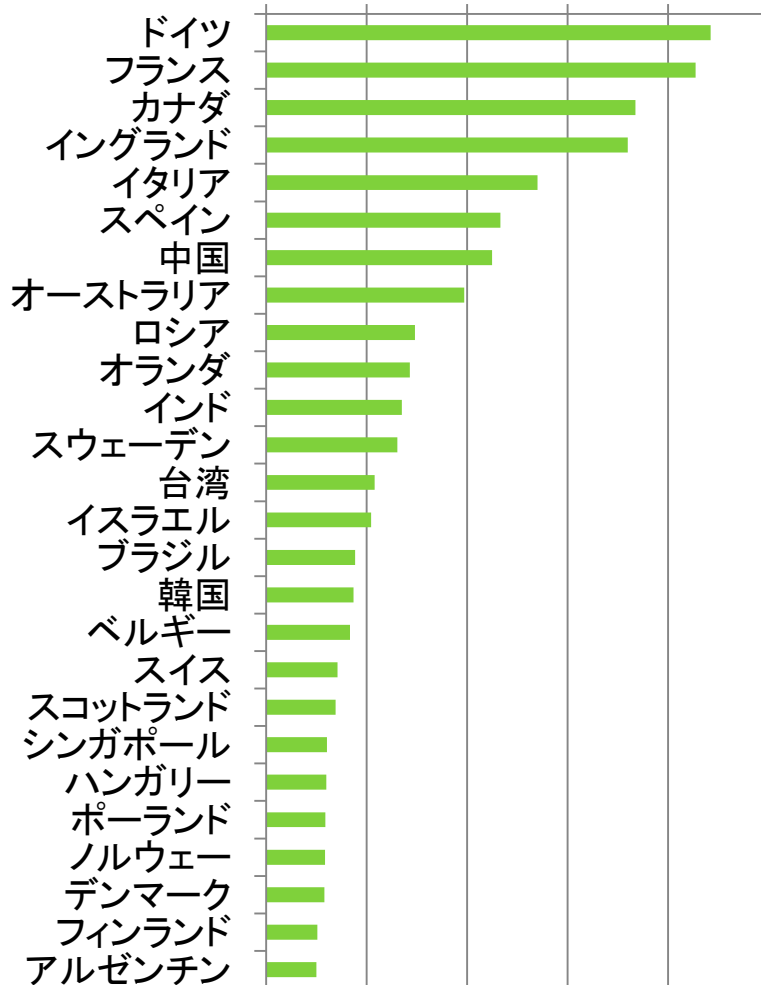


* 引用元国データは2008年日本動物学会大会でのポスター(トムソン・ロイターのデータを使用)に基づく(日本・米国は除いた)。

引用元国とアクセス元国の比較

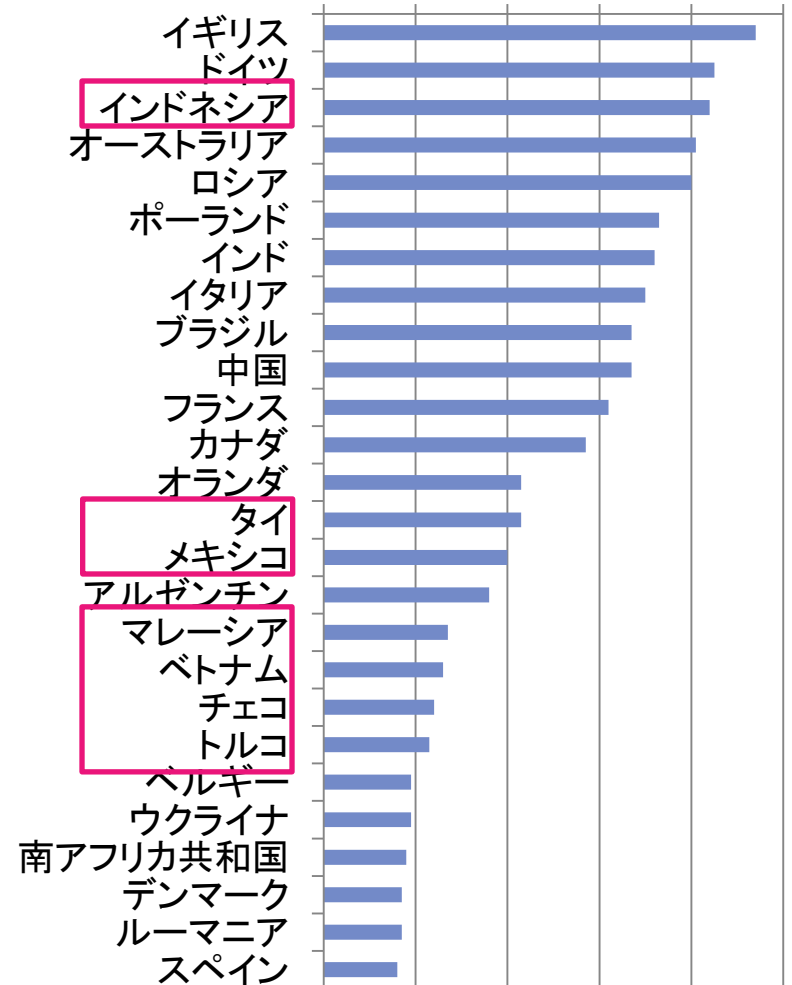
良く引用している国

0 200 400 600 800 1000



良くアクセスしている国

0 20 40 60 80 100



* 引用元国データは2008年日本動物学会大会でのポスター(トムソン・ロイターのデータを使用)に基づく(日本・米国は除いた)。

Zoological Science・利用数上位10位

順位	タイトル	著者	出版年	アクセス数	被引用数
1	Plasma and urine levels of electrolytes, urea and steroid hormones involved in osmoregulation of cetaceans	Birukawa, N et al.	2005	210	3
2	Acoustic Identification of Eight Species of Bat (Mammalia: Chiroptera) Inhabiting Forests of Southern Hokkaido, Japan : Potential for Conservation Monitoring	Fukui, D et al.	2004	202	6
3	Phylogenetic relationships of the family Agamidae (Reptilia : Iguania) inferred from mitochondrial DNA sequences	Honda, M et al.	2000	148	23
4	Origin and evolution of chordates	Satoh, N et al.	2001	127	0
5	Phylogenetic relationships of eublepharid geckos (Reptilia : Squamata): A molecular approach	Ota, H et al.	1999	123	18
6	Phylogeny and Evolution of Butterflies of the Genus Parnassius : Inferences from Mitochondrial 16S and ND1 Sequences	Katoh, T et al.	2005	111	4
7	Phylogenetic relationships of the flying lizards, genus Draco (Reptilia, Agamidae)	Honda, M et al.	1999	101	20
8	A genome-wide survey of genes for enzymes involved in pigment synthesis in an ascidian, Ciona intestinalis	Takeuchi, K et al.	2005	86	4
9	Parapatric distribution of the lizards Plestiodon (formerly Eumeces) latiscutatus and P-japonicus (Reptilia : Scincidae) around the Izu Peninsula, central Japan, and its biogeographic implications	Okamoto, T et al.	2006	79	1
9	Evolution of Asian and African lygosomine skinks of the Mabuya group (Reptilia : Scincidae): A molecular perspective	Honda, M et al.	1999	79	17

*被引用数は2009年3月(データ取得時)までの総数,ダウンロード数は2008年1年間の値

Zoological Science・被引用数上位10位

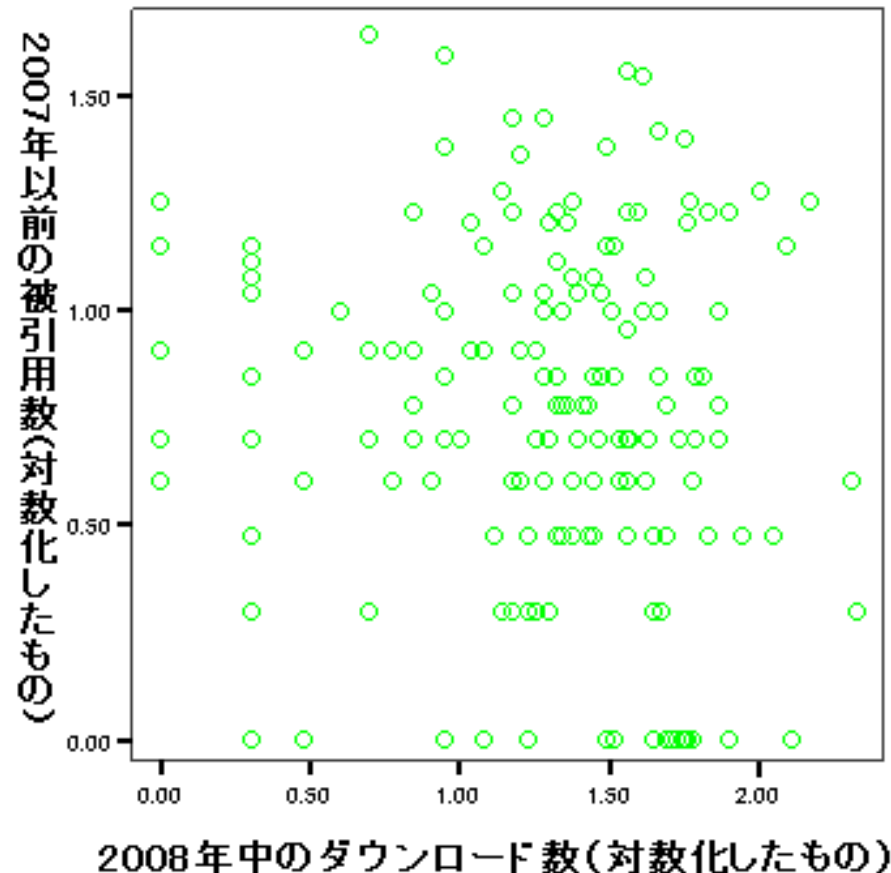
順位	タイトル	著者	出版年	アクセス数	被引用数
1	Two Types of cDNAs Encoding Proopiomelanocortin of Sockeye Salmon, <i>Oncorhynchus nerka</i>	Okuta, A et al.	1996	4	45
2	Distributional changes in branchial chloride cells during freshwater adaptation in Japanese sea bass <i>Lateolabrax japonicus</i>	Hirai, N et al.	1999	40	38
2	Spatio-temporal expression patterns of eight epidermis-specific genes in the ascidian embryo	Ishida, K et al.	1996	8	38
4	Developmental changes in low-salinity tolerance and responses of prolactin, cortisol and thyroid hormones to low-salinity environment in larvae and juveniles of Japanese flounder, <i>Paralichthys olivaceus</i>	Hiroi, J et al.	1997	35	36
5	An integrated database of the ascidian, <i>Ciona intestinalis</i> : Towards functional genomics	Satou, Y et al.	2005	30	32
6	Development of <i>Ciona intestinalis</i> juveniles (Through 2nd ascidian stage)	Chiba, S et al.	2004	45	30
7	GnRH Analog Stimulates Gonadotropin II Gene Expression in Maturing Sockeye Salmon	Kitahashi, T et al.	1998	18	29
8	Biochemical Differentiation in Japanese Newts, Genus <i>Cynops</i> (Salamandridae)	Hayashi, T et al.	1988	55	28
8	Isolation and characterization of cDNA clones for epidermis-specific and muscle-specific genes in <i>Ciona savignyi</i> embryos	Chiba, S et al.	1998	14	28
10	Phylogenetic relationships of the family Agamidae (Reptilia : Iguania) inferred from mitochondrial DNA sequences	Honda, M et al.	2000	148	23
10	Phylogenetic Position of Acoel Turbellarians Inferred from Partial 18S rDNA Sequences	Katayama, T et al.	1993	15	23
10	Estimation of Phylogenetic Relationships among Japanese Brown Frogs from Mitochondrial Cytochrome b Gene (Amphibia : Anura)	Tanaka, T et al.	1994	8	23

アクセス数と被引用数

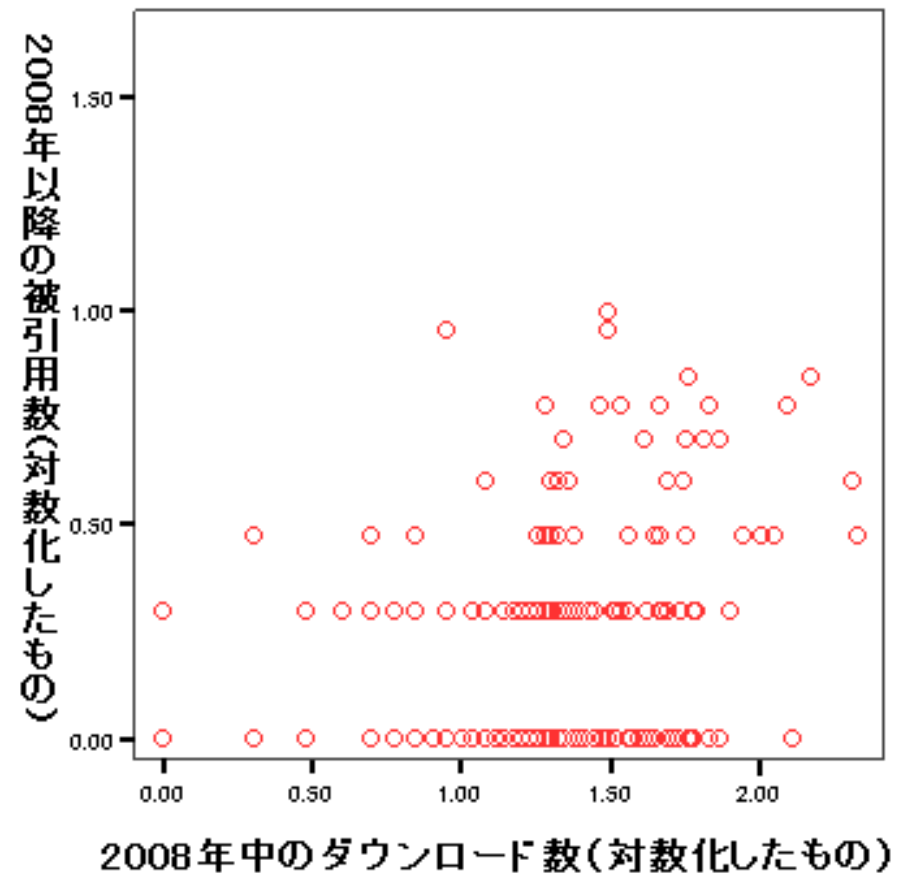
- HUSCAP, KURENAI収録のZS誌論文について、
 - 2008年のアクセス数
 - 2007年以前の被引用数
 - 2008年以降の被引用数
 - 論文の出版年

の関係を見てみた

アクセス数と被引用数

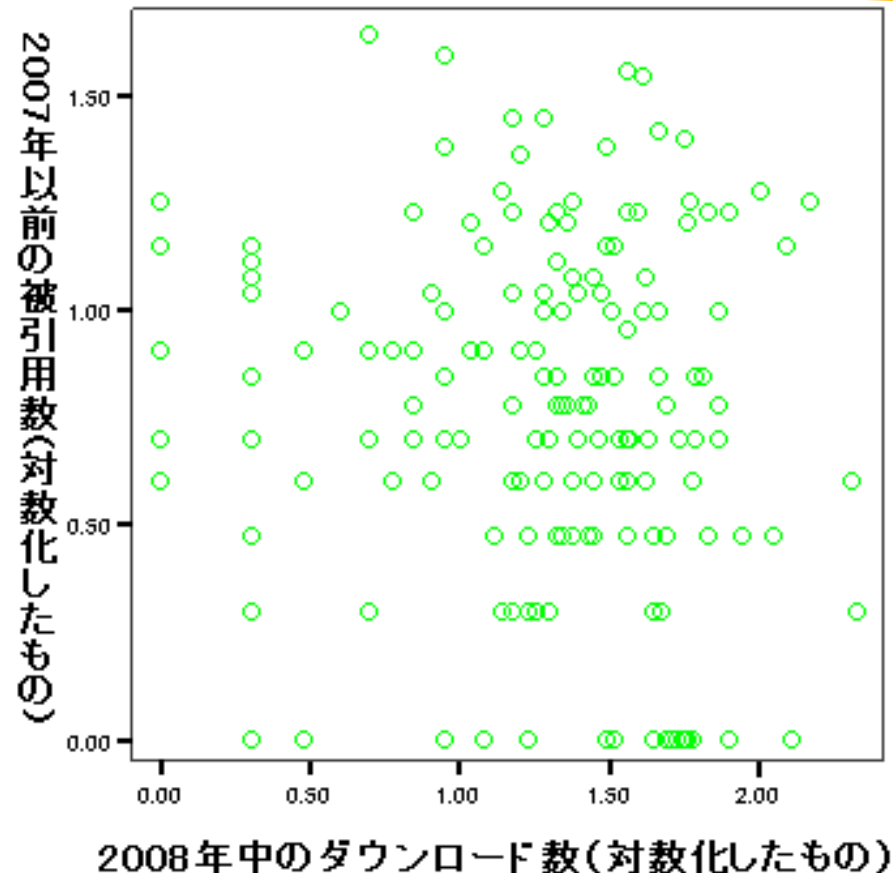


$\rho = -0.05$ ($p > 0.05$)
有意な相関がない



$\rho = 0.37$ ($p < 0.01$)
有意な弱い正の相関

アクセス数と被引用数



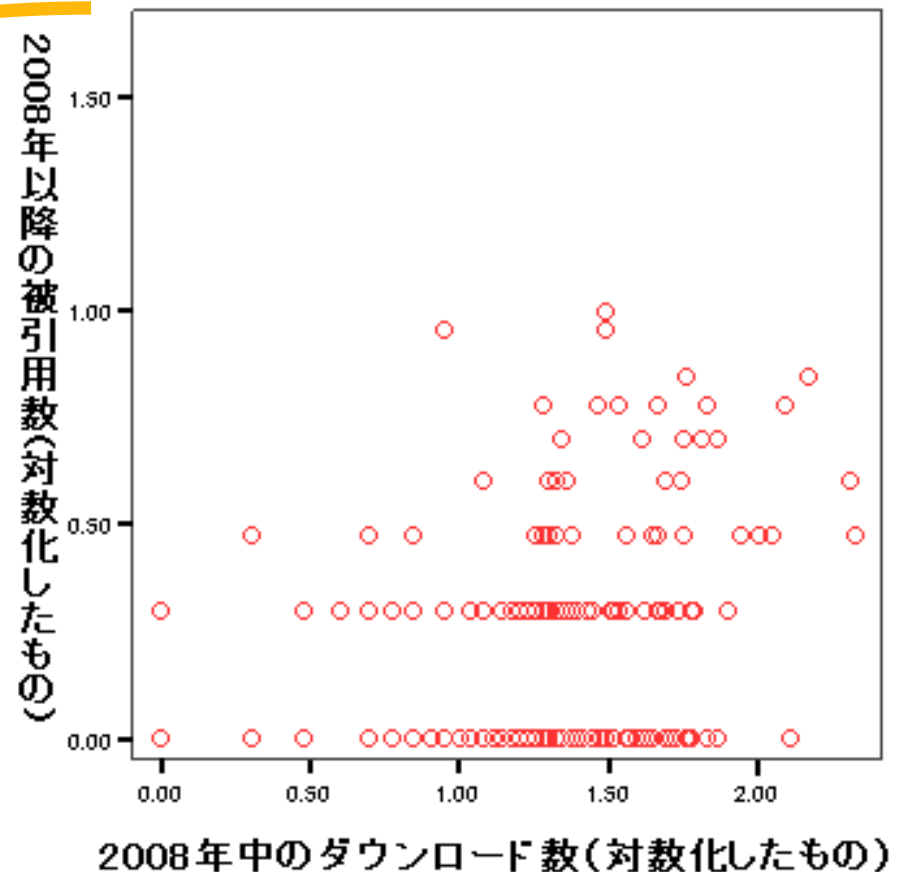
$$\rho = -0.05 \ (p > 0.05)$$

有意な相関がない

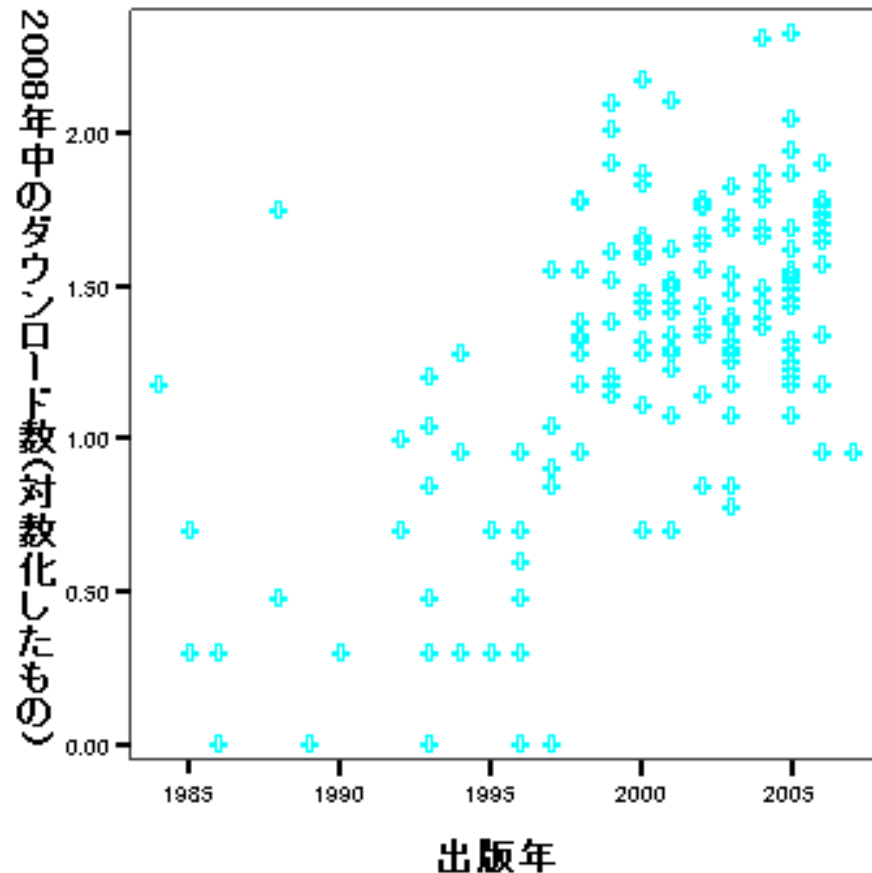
よく引用されていた論文と、よく読まれる論文は違う

アクセス数と被引用数

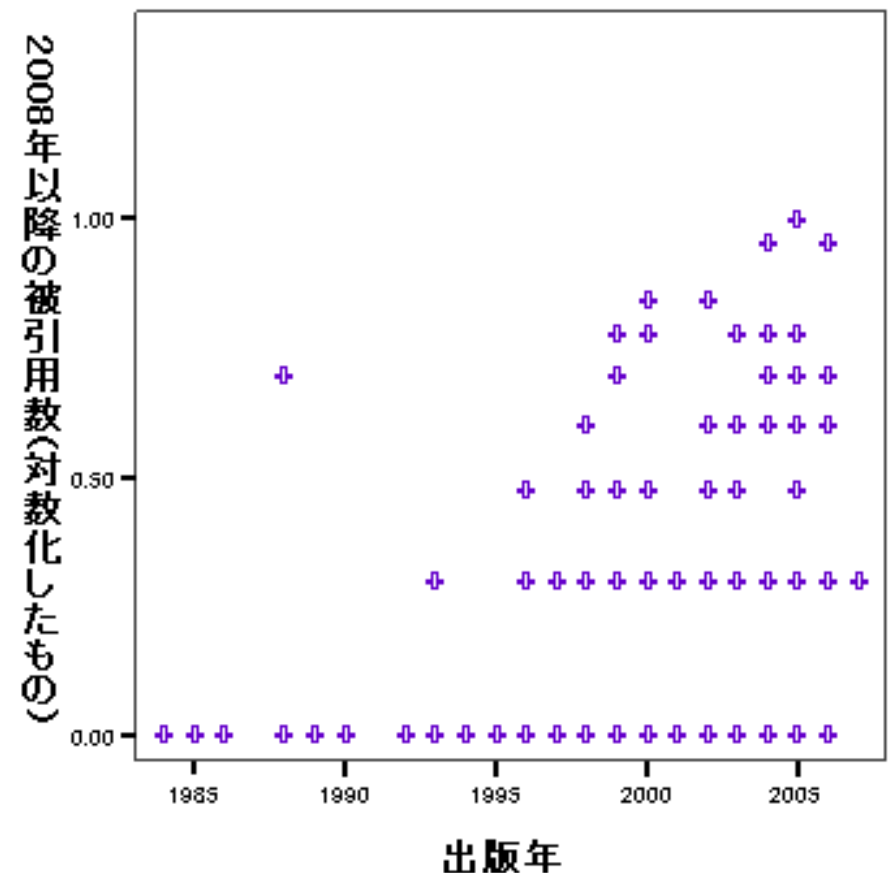
よく読まれた論文はよく引用される？



アクセス数・被引用数と出版年



$\rho=0.55$ ($p<0.01$)
有意な正の相関



$\rho=0.32$ ($p<0.01$)
有意な弱い正の相関

アクセス数・被引用数と出版年

- 新しい論文はよく利用される
- 新しい論文はよく引用される

アクセス数・被引用数と出版年

- 新しい論文はよく利用される
- 新しい論文はよく引用される



- 利用数と被引用数が相関して見える
(直接関係があるわけではない)

目次

1. 機関リポジトリとは？
2. ZSプロジェクトについて
3. アクセスログ分析
4. 『Zoological Science』論文の利用
5. まとめ

まとめ：リポジトリ登録の効果

- 「世界中に容易に流通」
 - サーチエンジンから容易に見ることができる
 - 途上国等も含む世界中からのアクセス
 - 多様な所属からの利用

⇒実現できる！

まとめ：リポジトリ登録の効果

- 被引用数との関係
 - 「引用の多い国」と「利用の多い国」も異なる
 - 「引用の多い論文」と「利用の多い論文」も異なる
- ⇒ 新たな需要の提起／従来見られなかった需要の可視化

まとめ:リポジトリ登録の効果

- 機関リポジトリによって引用が増えるか??

⇒今の段階では正直よくわからない!

- 統計的な関係はあるが偽相関
- 統計手法の限界(相関は見られるが...)
- 調査方法の再検討(引用者自身に聞く?)

⇒一層の分析が必要

まとめ：リポジトリ登録の効果

- 機関リポジトリに登録するとこれまで読んでいなかった人から読まれる！

—それが何をもたらすのか？

⇒学会に、大学に、社会に、世界に

プロジェクトへの協力・
コンテンツ提供をいただき
ありがとうございました



最後に:フロアの皆さんへ

- ぜひご意見をお聞かせ下さい

- こういう分析に興味はある／ない？

- 分析結果はどう思われますか？

- 個別の質問も出来る限りお答えします



Acknowledgements

- 本発表は「科学研究費補助金(基盤研究(C)機関リポジトリへの登録が学術文献流通に及ぼす効果についての定量的分析」および国立情報学研究所次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業委託事業(領域2)「機関リポジトリへの登録が学術文献流通に対して及ぼす効果についての定量的解析のための文献蓄積及びデータ整理」による支援を受けた研究に基づいています。
- ZSプロジェクト参加機関に加え、アジア経済研究所から提供いただいたデータに基づいています。
- ZS誌の被引用数データはトムソン・ロイター社提供のデータに基づいています。

参考文献

- 科学技術・学術審議会 学術分科会研究費部会. “科学研究費補助金に関し当面講ずべき措置について(これまでの審議のまとめ)”. 文部 科学省. 2009, http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/gaiyou/1283490.htm, (2009-09-01参照).
- “Budapest Open Access Initiative”. <http://www.soros.org/openaccess/read.shtml>, (2009-09-01参照).
- Galyani Moghaddam, Golnessa; Moballeghi, Mostafa . How Do We Measure Use of Scientific Journals?: A Note on Research Methodologies. Scientometrics. 2008, vol.76, no.1, p. 125-133.
- 佐藤義則. 動向レビュー: 機関リポジトリの利用統計のゆくえ. カレントアウェアネス. 2008, (296), p.12-16. (<http://current.ndl.go.jp/ca1666>, 2009-09-01参照).